

企画展

陶磁胎七宝の世界

2023年

1月28日(土)
～3月5日(日)

●休館日

1月30日(月)、2月6日(月)・13日(月)・
20日(月)・24日(金)・27日(月)

●開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●場 所

あま市七宝焼アートヴィレッジ
企画展示室

●観覧料

大 人 310円(250円)

小中学生 100円(50円)

※()内は20人以上の団体



あま市七宝焼アートヴィレッジ

〒497-0002 愛知県あま市七宝町遠島十三割2000番地
TEL 052-443-7588 FAX 052-443-7122
<https://www.shippoyaki.jp/index.html>



企画展

陶磁胎七宝 の世界

七宝焼の土台となる素地は、ほとんどが銅でできています。素地の部分が陶磁器でつくられているものを陶磁胎七宝と呼びます。

陶磁胎七宝は江戸時代末期から明治10年代にかけて盛んにつくられた記録が残っていますが、明治時代中頃には急速に減少し、その後はほとんどつくられなくなりました。なぜ陶磁胎七宝の技法が生まれたのかは明確な理由が分かっておらず、謎に包まれています。

今回は七宝焼の珍しい製法である陶磁胎七宝に焦点を当てて、作品を紹介します。

● イベント案内

七宝歴史講座

参加費無料

七宝焼の歴史について、様々な角度から学ぶ講座です。
今回は七宝焼の製法についての座学を約1時間、その後、
展示室で企画展の解説を約30分行ないます。

日時：2月5日(日)

午後2時から午後3時30分まで

場所：交流ホール 定員：30名(要申込、先着順)

申込：2月1日(水) 午前9時よりアートヴィレッジにて受付します。



伝統文化映画会

参加費無料

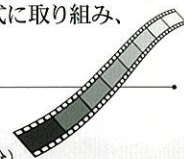
「【漆芸】重要無形文化財 輪島塗に生きる」

輪島塗技術保存会が後世に伝えるべく懸盤一式に取り組み、
完成するまでの工程を見ます。

日時：3月4日(土)・5日(日)

午前11時から・午後2時から(上映時間34分)

場所：交流工房 定員：各回30名(申込不要、先着順)



星空観察会

参加費無料

芝生広場で天体望遠鏡を使って星空を見ます。

日時：3月4日(土) 午後7時から午後8時まで ※天候不良時は5日(日)

場所：芝生広場 定員：30名(要申込、先着順)

申込：2月4日(土) 午前9時よりアートヴィレッジにて受付します。

協力：津島天文クラブ



観覧料

大人 310円(250円)

小中学生 100円(50円)

※()内は20人以上の団体

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会期中の休館日：1月30日(月)、2月6日(月)・13日(月)・

20日(月)・24日(金)・27日(月)

あま市七宝焼アートヴィレッジ

愛知県あま市七宝町遠島十三割2000番地

TEL.052-443-7588 FAX.052-443-7122

HP <https://www.shippoyaki.jp>

